

第 4 8 回 札幌支部高等学校新人剣道大会開催要項

- 1主

催

札幌剣道連盟 北海道高等学校体育連盟札幌支部
- 2後

援

札幌・石狩学校剣道連盟
- 3主

管

北海道高等学校体育連盟札幌支部剣道専門部
- 4期

日

令和5年11月4日（土）開場8：00 開会式9：10～

[男子個人戦] [女子団体戦Ⅰ部（決勝まで）]

[男子団体戦Ⅰ部（予選トーナメント、全道大会出場校決定まで）]

令和5年11月5日（日）開場8：00 競技開始9：10～

[男子団体戦Ⅱ部] [女子団体戦Ⅱ部] [女子個人戦] [男子団体戦Ⅰ部（決勝まで）]
- 5会

場

千歳市開基記念総合武道館 千歳市あずさ1丁目3番地 TEL 0123-22-2100
- 6参

加

資

格

（1）北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、年齢は4月2日起算とし、満19歳未満の者とする。

（2）令和5年度に1・2学年在籍者とし、同一学年での出場は一回限りとする。

（3）転校生で転校後6ヶ月未満の者は出場できない。（一家転住の場合はこの限りではない。）
- 7チ

ーム

の

編

成

[団体戦]

【男子・女子Ⅰ部】5人制で試合を行う。1校につき男子・女子各1チームとし、監督1名、マネージャー1名、登録選手7名の計9名で編成する。登録選手7名は、大会申込み書に番号順で記入する（7名に満たない場合は、番号を空けずにつめて記入する）。3名の場合は、中堅・副将・大将、4名の場合は、次鋒・中堅・副将・大将でオーダーを組むこと。選手3名以上であれば全道大会・全国大会の出場も認められる。全日制、定時制、通信制の混成は認めない。

【男子・女子Ⅱ部】3人制で試合を行う。1校につき男子・女子各1チームとし、監督1名、マネージャー1名、登録選手5名の計7名で編成する。登録選手5名は、大会申込み書に番号順1～5に名前を記入する（5名に満たない場合は、番号を空けずにつめて記入する）。2名の場合は、中堅・大将でオーダーを組むこと。全道大会への出場権は、予選を勝ち上がった場合、または支部専門委員の推薦を受けた場合に得ることができる。全国大会はない。全日制、定時制、通信制の混成は認めない。

※団体戦への参加申込みは、次の3通りの中から選ぶ。

①Ⅰ部に出場し、全道出場権を得ることができなかった場合、Ⅱ部に出場する。

②Ⅰ部のみに出場する。 ③Ⅱ部のみに出場する。

（①～③のいずれも、申込用紙ならびにファイルは同一のものを使用する。申し込み用紙・ファイル参照）

[個人戦] 1校につき男・女各8名以内とする。
- 8組

合

せ

（1）男子団体戦Ⅰ部は、令和5年度札幌支部高体連大会順位により今大会は8校をシードする。なお、北海道高体連大会優勝・準優勝校は、高体連支部大会結果より優先しシードし、高体連札幌支部申し合わせ事項により第1シード権・第2シード権（決勝トーナメントからの出場）が与えられる。

（2）女子団体戦Ⅰ部は、令和5年度札幌支部高体連大会順位をもとに今大会は8校をシードする。なお、北海道高体連大会ベスト8校は、高体連支部大会結果より優先して、シード上位とする。優先順位としてはまず全道大会での順位の上位校を上位とする。これが同じ場合は、支部大会での順位の上位校を上位とる。

（3）団体戦Ⅱ部はフリー抽選とする。男女ともに1日目のⅠ部の試合終了後に抽選を行う。

（4）個人戦（男・女）はフリー抽選とする。

※個人戦の申込み書・申込みカードの記入は、強い順ではありません。抽選は男女とも4ブロック8トーナメント（下記参照）の申込によるフリー抽選となりますので、任意にふりわけて申し込んで下さい。ただし、8名に満たない申込みについては、受付順により専門部で調整させて頂く場合があります。
- A

B

C

D

E

F

G

H
- （5）団体戦Ⅱ部を除き、組合せ抽選会は令和5年10月24日（火）監督会議にて行う。抽選結果は25日（水）、高体連札幌支部剣道専門部のHPにアップ予定。
- 9全

道

出

場

権

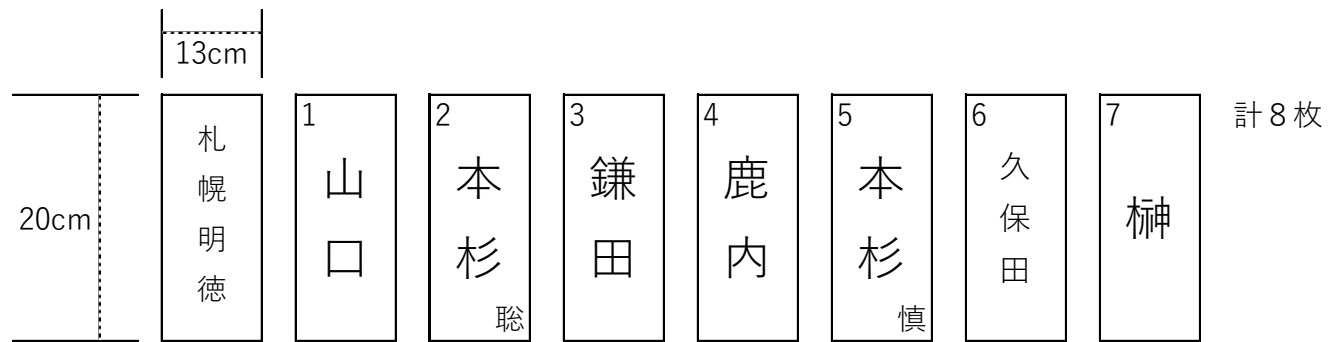
男子団体16校（12校プラス今年度の全道高体連大会において1位・2位の支部に出場枠が与えられる、さらに今年度は札幌支部に2枠の増加枠が与えられた）、女子団体Ⅰ部12校（10校プラス今年度の全道高体連大会において1位・2位の支部に出場枠が与えられる、さらに今年度は札幌支部に1枠の増加枠が与えられた）、男子団体Ⅱ部8校、女子団体Ⅱ部は各支部で推薦されたチーム、男子個人36名（32名プラス人口調査による増加4名）、女子個人26名（24名プラス人口調査による増加2名）。なお、男女団体戦Ⅱ部は、各支部

での合同チームの出場も可能である。全道大会は、千歳市開基記念総合武道館で令和6年1月12日（金）・13日（土）に開催される。団体戦（男女Ⅰ部・男女Ⅱ部）においては、他支部の大会のエントリー状況により、全道出場枠が増えることもあり得る。

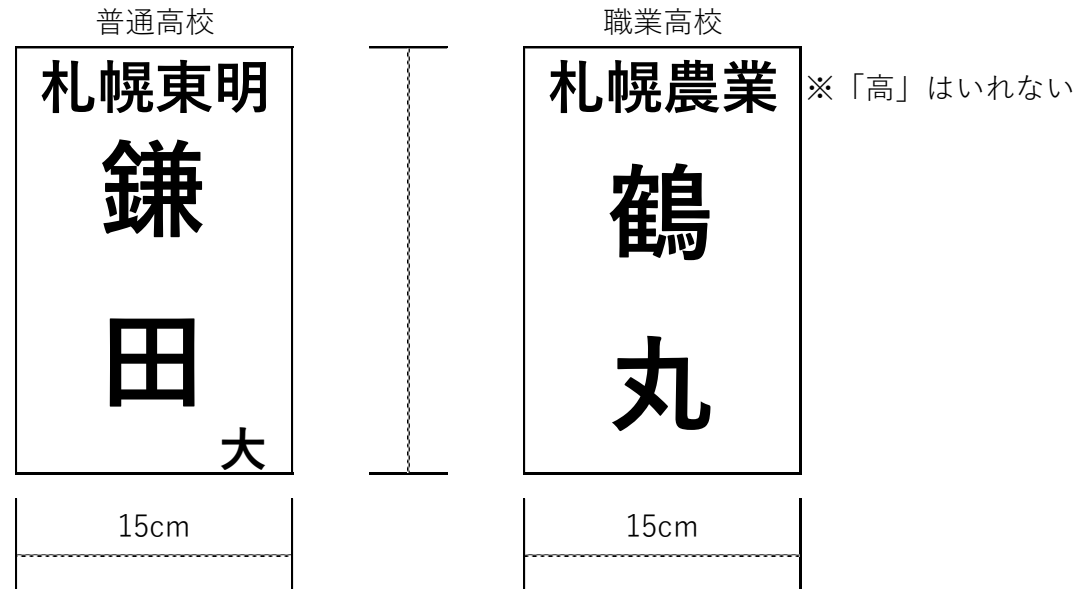
- 10 表 彰 団体戦Ⅰ部は男女各8位まで、団体戦Ⅱ部は男女各3位まで、個人戦は男女各5位までを表彰する。団体戦男女Ⅰ部の上位校は次年度の春季大会のシード権を与える。個人戦は次年度の高体連支部大会個人戦のシード権を与える。ただし、個人戦のシードは個人のみとする。
- 11 試 合 方 法 (1) 団体戦Ⅰ部は5名、団体戦Ⅱ部は3名による団体試合とし、すべてトーナメント戦（予選・決勝）方式で行う。
(2) 試合及び審判は、（財）全日本剣道連盟の「剣道試合及び審判規則」、ならびに北海道高体連剣道専門部申し合わせ事項による。また、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法を適用する。
(3) 団体戦（男女Ⅰ部）は、予選トーナメント、決勝トーナメントともに4分3本勝負とし、勝負の決しない場合は引き分けとする。勝者数、取得本数が同一の場合は代表者戦を行う。代表者戦は4分1本勝負とし、延長戦の試合時間は4分とする。延長戦が継続する場合は延長戦2回ごとに休憩（深呼吸）・休息（給水）を繰り返し、勝敗の決するまで行う。
団体戦（男女Ⅱ部）は、予選トーナメント、決勝トーナメントともに3分3本勝負とし、勝負の決しない場合は引き分けとする。勝者数、取得本数が同一の場合は代表者戦を行う。代表者戦は3分1本勝負とし、延長戦の試合時間は3分とする。延長戦が継続する場合は延長戦2回ごとに休憩（深呼吸）・休息（給水）を繰り返し、勝敗の決するまで行う。
(4) 団体戦（すべての部門）については、登録選手によるオーダー変更を、試合ごとに認める。オーダー用紙は、前の試合の次鋒戦（Ⅱ部では先鋒戦）終了までに審判主任に提出すること。但し、各会場で第1試合目の学校は、オーダーを競技開始20分前までに審判主任に提出すること。
(5) 参加選手はマウスシールドの着用を必須とし、面マスクの着用は任意とする。
- 12 申 し 込 み (1) 申し込みは、令和5年10月17日（火）までに「参加申込書」と「個人戦カード」を郵送すること。「参加申込書」と「個人戦カード」は高体連札幌支部剣道専門部のホームページ（<http://www.kendo-sapporo.hokkaido-c.ed.jp>）の「顧問のみなさんへ」のページの注意書きをよく読んで入力（「参加申込書」）・記入（「個人戦カード」）してください。特に「個人戦カード」の各欄に3桁の数字を記入するのを忘れないでください。電子メールによる申込も必須です。前掲ホームページの「メニュー」にある「申し込みファイル」から「新人戦」の「ファイル」を左クリックしてダウンロードして下さい。そして、そのファイルに必要事項を入力してください。このシートをプリントアウトしたものが「参加申込書」となります。職印を押印の上、下の宛先に郵送するとともに、入力したファイルをそのまま電子メールで下記のアドレスに送信してください。なお、「参加申込書」は男女とも黒色でのプリントアウトで構いません。「個人戦カード」は今まで同様、男子は黒字、女子は赤字で記入してください。
- (2) 送信先：kn.sato@sapporoshinyo-h.ed.jp（10月17日（火）まで）
申込先：〒005-0005 札幌市南区澄川5条7丁目1-1
札幌新陽高等学校 佐藤 貫太 まで
- (3) 参加料：◎団体男子・女子Ⅰ部1チーム7,000円、男子・女子Ⅱ部（Ⅱ部のみに出場）3,000円
◎個人戦1名につき1,500円
- 13 監 督 会 議 令和5年10月24日（火）14：30（14：00受付）より 札幌厚別高等学校視聴覚教室で開催する。
※欠席の場合は、申込みメールに付記して下さい。
- 14 諸 注 意 (1) 申し込み後の登録選手の変更は認めない。但し、病気・怪我・転校等で団体戦出場選手を変更せざるを得ない場合は、前日までに専門委員長へ連絡をし、試合当日の審判会議前までに校長印を押印した選手変更願を提出すること。その場合、専門委員会で検討し、変更を認めることもある。
- (2) 参加校は、用具確認証をまとめて、受付時に提出すること。
- (3) 校名・選手名カード（次頁参頁）を作成し、学校名入りの封筒に男女別に入れて各校で管理する。
試合を行う会場に持参し、試合ごとに各会場に提出する。
①模造紙を規格サイズ（縦20cm、横13cm）に切り、登録者枚数分用意する。
②下記要領で校名・番号・選手名（姓）を男子は黒マジック・女子は赤マジックで書き入れる。
③チーム内に同じ姓の選手が複数いる場合は、名の一文字をそれぞれ記入すること。

【カードの記入例】

(表) 番号・選手名は申込書と一致する。(裏) 札幌明德高等学校 ← 学校名がわかるように押印



- (4) 登録選手は、中央の大垂れに白色で、上部に校名を横書きにし、下部に姓を縦書きに明記した黒又は紺の布製の名札を着用すること。なお、同一チーム内に同じ姓の選手が複数いる場合は、該当選手全て、名札に名の一文字を記載すること（チョーク等での記入ではなく、布等を縫い付けること。）



- (5) 竹刀の長さは、117cm以内。太さは（先皮先端部最小直径）、男子26mm、女子25mm以上とする。
- (6) 竹刀のちくとう部直径（竹刀先端部より8cmのちくとう対角最小直径）は、男子21mm以上、女子20mm以上とする。また、竹刀は先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなるものとする。
- (7) 竹刀の重さは、男子480g以上、女子420g以上とする。
- (8) 面ヒモの長さは、40cm以内に揃えること。
- (9) 選手の服装は、紺（黒）または白色の稽古着、袴とする。
- (10) 紅白の目印（長さ70cm・幅5cm）をチーム人数分各校で用意すること。
- (11) 竹刀の柄皮に学校名・個人名を記入すること。男子は、黒マジック・女子は、赤マジック。
- (12) カーボン竹刀の使用は認める。（メーカーはハセガワに限定）
- (13) 申込みに際しては、選手の生年月日を確認すること。
- (14) 監督の服装は、背広・ネクタイ、または剣道着・袴とする。
- (15) マネージャーが選手席に入る場合の服装は、制服又は紺（黒）色または白色の稽古着、袴とする。
- (16) 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用は禁止する。
- (17) 応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止する。
- (18) 大会プログラム・オーダー用紙は、高体連札幌支部剣道専門部のホームページ（<http://www.kendo-sapporo.hokkaido-c.ed.jp>）よりダウンロードし、各学校で印刷して持参してください。